

技術データ管理支援協会(MASP)事業改革研究会 報告書

2019年12月18日

1. 研究会趣意

技術データ管理支援協会は、1998年の発足以来様々な活動を行ってきた。そして機会ある毎に MASP 活動に対して振り返りが成されてきた。

例えば、2010年の「MASP 未来委員会」とか 2015年の「MASPドキュメント整備」とか同年の「MASP 事業領域と事業使命」等がある。

その様な中、2018年後半から MASP セミナー指導者問題や MASP ソフトウェア(FBOM、なりゆきスケジューラ)が成立した現在以降の MASP 事業への考え方など新たな課題が話題になってきた。

そこで、MASP という組織に対して「技術データ管理支援協会(MASP)事業改革」というテーマの元、MASP とは何かを再度議論し、MASP 事業(活動)が世間一般に認知される事を目的に研究会を発足される。

2. 研究会への参加依頼

技術データ管理支援協会(以後、MASP と称す)が設立されてから21年目を迎えると共に元号も令和となり、MASP を取り巻く社会環境が変化し MASP 構成員自身の環境も変化しております。また、2010年には「未来委員会」が組織され 2010年以後の MASP の方向性が検討され 報告書・提言書(添付ファイル参照)が MASP 理事会・運営委員会に提出されておりますが、残念ながら提言内容の大半が現時点においても実行出来ていない状況です。

そこで、現在の MASP 会員にとって有意義で役立つ MASP へ改革する為に、研究会の場を借りて会員全員で討議し、「残すものは残す」「変えるものは変える」の考え方で報告書及び実行可能な実施計画書を作成し MASP 理事会・運営委員会に提言することを目指します。また、この研究会で MASP ドキュメントの棚卸も併せて行う予定です。

会員各位におかれましては、MASP 事業活動の一環として本研究会への参加を依頼するものであります。

3. 研究会開催実績及び参加者

「技術データ管理支援協会事業改革」参加者

No	氏名	備考	開催日				
			6月28日	7月26日	9月18日	10月16日	11月27日
1	柿谷 常彰	主査	○	○	○	○	○
2	武藤 宏二	副主査	○	○	○	○	○
3	大塚 修彬		○	○	○	×	○
4	手島 歩三		○	○	○	○	○
5	桑山 卓三		○	○	○	○	×
6	奥村 直正		○	○	○	○	○
7	伊庭 嘉孝		○	○	○	○	○
8	町井 昌徳		○	○	○	○	○
9	安保 秀雄		○	○	○	○	○
10	田中 渉	ITC	×	×	×	○	×
11	藤岡 学	三井物産	○	×	×	×	×
12	加藤 嘉夫	ITC	○	○	○	○	○
13	藤森 章夫		○	○	○	○	○
14	廣瀬 裕		○	○	○	○	×
15	南波 幸雄		○	×	○	○	○
16	和澤 功		○	×	○	○	○
17	吉田 了二		×	×	○	×	○
18	本田 徹		×	×	○	×	○
19	杉(SBS)		×	×	×	×	○

4. 結論

① 共通認識

研究会参加者は、**MASP 基本技術**（“概念形成と問題解決手法(ConForM)”、“概念データモデル設計法(CDM)”、“利用者中心の IT プロジェクト推進）と **MASP パッケージ**（“F-BOM ”“なりゆきスケジューラ”）を普及することが、社会貢献及び自己研鑽になると考えている。

MASP 活動を継続するためには活動資金が必要であり、MASP 基本技術及び MASP パッケージを用いて活動資金を得たいと考えている。

② 収入と活動計画

➤ 基本技術グループ

- ✓ MASP の強みは、企業のビジネスモデル構築(再構築)を支援することができるツール“概念形成と問題解決手法(ConForM)”、“概念データモデル設計法(CDM)”を有する事である。
- ✓ 収入を得るための活動としては、“有料セミナー”“企業のビジネスモデル構築(再構築)コンサルティング”“MASP 会員勧誘(会費収入)”等が考えられる。

- ✓ 顧客は、“企業経営者層”“情報システム産業社(情報システム部門、経営改革推進部門、IT ベンダー、IT コーディネータ等)”“プロジェクトリーダー個人”が考えられる。
- ✓ “ConForM”、“CDM”を普及し収入を得るためには、広告宣伝が必要である。
- ✓ 問題点と対策(実行計画)
 - 会員個人の事を知らない・・・達人交流会(個人の専門分野を発表する場)
 - * 来年1月と3月
 - 広告宣伝のための道具が必要・・・リーフレットの作成
 - * 今年度中
 - 収入を得られる講師が数人しかいない。・・・講師養成自主セミナーを実施
 - * 次年度

➤ パッケージグループ

- ✓ MASP が提供するサービス
 - 研修サービス(都度, 請求が発生する)
 - コンサルティングのサポート窓口(基本, 都度で請求が発生する) 顧客企業のコンサルをするような, 例えば IT コーディネーターなどの個人事業主からの問い合わせを想定している。
 - MASP 管理のドキュメント, 主に仕様書, 設計書, 運用の手引き書は有料である. ソフト/システム会社がなんらかのソフトやシステムを開発するための資料である。
 - 「MASP 設計サイト」の利用は会員制である. 会員種別で料金は異なるが, その会員費が元手として運用する。
 - 会員からの営業要求に応えるための, MASP が実演するデモは有料である. 顧客から借用したデータあるいはソフト会社やシステムベンダーから提供されたデータを元に, 「MASP 設計サイト」を利用することを想定している。
 - データモデル設計を MASP が依頼された場合, 作業費用をいただく。
- ✓ 実行計画
 - 特許関連の調査:~ 2019 年 3 月
 - 著作権の範囲の調査:~ 2019 年 3 月
 - 会員種別の整理:~ 2019 年 3 月
 - 各種の利用規約:~ 2020 年 12 月
 - API/DBI 仕様書と利用の手引書(F-BOM エンジン):~ 2020 年 9 月 情報設計手法の編集:~ 2021 年 3 月
 - 「設計サイト」の構築:未定
 - API/DBI 仕様書と利用の手引書(eco2, なりゆきスケジューラ):未定

5. 添付資料

- ① 20190329「技術データ管理支援協会(MASP)事業改革」研究会趣意書
- ② 20190524 令和元年 MASP 研究会
- ③ 第1回技術データ管理支援協会事業改革研究会議事録(正)
- ④ 第2回技術データ管理支援協会事業改革研究会議事録(正)
- ⑤ 第3回技術データ管理支援協会事業改革研究会議事録(正)
- ⑥ 第4回技術データ管理支援協会事業改革研究会議事録(正)
- ⑦ 第5回技術データ管理支援協会事業改革研究会議事録(正)

以上